

江田島小学校6年



末政 未政
大琥さん

市議会アドベンチャーで、江田島市議会ではどんなことをして、どんなものがあるのかなど、たくさん知りました。6年後には、ほくにも選挙権があります。そのときには参加します。

また、意見があるときは、今日学んだ「請願」や「陳情」をしていきたいです。
そして、江田島市に住む一人として、この江田島市は老人の福祉だけでなく、子どもが外で元気よく遊べる町にしていきたいです。
今日学んだことを忘れず、生活に生かしていきたいです。
今度、家でも「議会だより」を読んでみようと思います。



鹿川小学校6年



山崎 花菜さん

私は、議会アドベンチャーで、初めて知ったことがたくさんありました。その中には、驚いたこともありました。

特に驚いたのは、市議会の人は、休日があまりないということ。議会がない日は、遠くまで勉強に行ったり、不安のある市民の質問を聞いて解決したりしていると聞きました。
他にも、発表の準備をしていると聞き、どうして休まないのだろうと思うようになりました。
でも、お話を聞くうちに、市議会の人の江田島に住んでいる人々に安心して生活してもらいたいという気持ちが強くなってきて、休まずにみんなのことを考えていることがすごいと思いました。
私は、今回の議会アドベンチャーで未来につなげていけるものが見つかりました。この貴重な体験を将来、生かしたいです。

柿浦小学校6年



西浦 慶人さん

ほくは、江田島市議会アドベンチャーの学習から、江田島市の政治をより深く知ることができました。市民、市議会、市長の関わりがよく分かりました。友達が議場で質問するとき、緊張するのかなと思いました。

施設見学では、副市長のいすに座り、ふかふかな座り心地がして、自分が偉くなったような気がしました。
しかし、議員や市長は、毎日大変な仕事をしているんだろうと感じました。
質問タイムでは、柿浦のことについて真剣に答えてくださったので、うれしかったです。とても勉強になりました。

中町小学校6年



上田 水穂さん

私は、議会アドベンチャーで市議会を見学し、市議会の仕組みについてよく知ることができました。また、なかなか座ることのできない席に座ったり、演台に立って質問したりと良い経験にもなりました。私は、質問するとき緊張したけど、議員は大勢の前で市のために意見を出して話し合われてすごいなと思いました。

年に4回の中で決めて、さらに全員協議会や委員会などで、いろんなことを話し合っておられることも分かりました。
私たちが今、快適に暮らしているのは、こういったことから成り立っていることが分かりました。
江田島市をより良いものにしていくためにも、選挙に行ったり、意見を出したりしたいと思います。

大古小学校6年



山本 花さん

今日、私たちは社会科の学習で市議会アドベンチャーに行きました。議場の見学や質問をすることができました。
今までは市の政治は大人がするもので子どもは関係ないと思っていました。

だけど、選挙でそれぞれが信頼できる人を選んで市民の意見や考えを反映して進める仕組みや、予算の中に福祉の占める割合が多いことから、私たちの暮らしをより良いものにするためにも議会があると分かりました。
この市議会アドベンチャーを通して、政治は大人だけのものではなく、私たち子どもも関係していると思いました。
私が18歳になって、選挙権を持った時は信頼できる代表者を選んで、市の政治に参加したいです。議会アドベンチャーに参加できて良かったです。

三高小学校6年



濱田 愛和輝さん

江田島市議会の見学をしました。江田島市民から選ばれた議員たちが、市議会の中で、江田島市の未来のことを真剣に考えながら話し合いをされているということがわかりました。予算を何に使うかを決めるのも市議会の大切な仕事であることも分かりました。
ほくはもうすぐ中学生になるけど、ほくたちが中学校で、いい環境の中で学習できるように教育費の予算を充実させてほしいと思いました。

議会クイズも楽しかったです。クイズで女性の議員が少ないことが分かったので、女性議員が、もっと増えるといいなと思いました。
議場は、神聖な場所なので、議場に入る時や出る時に必ず一礼することを教えてもらいました。ほくも礼をして入りました。とても緊張しました。実際に模擬議会をして、ほくは、予算の使い方について質問しましたが、そのときも緊張しました。
社会科で国会・内閣・裁判所の仕事について学習したので、市議会も小さな国会のように思いました。議会体験はとても貴重な体験になりました。
ほくたちは、18歳から選挙権があります。そのときは、必ず選挙に行つて、江田島市や三高の未来を良くしてくれる人を議員に選びたいと思います。